

株式会社 天伸産業

DX宣言書

2024年10月31日
株式会社 天伸産業
代表取締役 伊藤 悟

□ 経営理念

環境に配慮した解体工事を行い、地域の環境保全に貢献します
従業員が安心して働くことができる環境を育みます

□ DXビジョン(2～3年後にありたい姿)

- ◆ デジタル技術の導入を通じて業務効率化を推進し、全ての従業員にとってこれまで以上に働きやすい職場環境を実現します
- ◆ 中間処理事業において、IoTセンサーやAI等を活用することにより、ビジネスモデルの変革を目指します

□ DX戦略・施策

➤ フェーズ1(現在 ～ 2025年11月)

戦略 「社内全体でのITリテラシーの向上と、業務プロセスの変革」

- 施策
- ・ デジタル基盤を構築するために、スマートフォン/タブレット端末等のデバイスを導入
 - ・ 従業員が新しいデバイスや導入済みソフトウェアを使いこなせるよう、研修等の機会を提供
 - ・ グループウェアを活用して、社内コミュニケーションを活性化し、迅速な情報共有を実施
 - ・ 社内のバックオフィス業務の現状を分析し、現場が抱えている課題をリスト化
 - ・ 課題の中から優先順位付けを行い、解決策を策定し、実行

➤ フェーズ2(2025年12月 ～ 2026年12月)

戦略 「廃棄物処理に係る基礎情報をデータ化し、データベースを構築」

- 施策
- ・ 紙媒体で保存していた書類(マニフェスト)の電子化に向けた計画を策定
※マニフェスト…廃棄物の処理が適正に実施されたかどうか確認するために作成する書類
(公益全国産業資源循環連合会HPより)
 - ・ 電子マニフェストを運用するために、社内の運用体制やルールを策定
 - ・ 策定した計画に則り、マニフェストの電子化を実行

➤ フェーズ3(2027年1月 ～ 2027年11月)

戦略 「中間処理事業の内製化に向けた下準備」

- 施策
- ・ 廃棄物の回収必要量を把握できるよう、IoTセンサーや画像認識の活用を検討
 - ・ 破碎・選別の工程で、センサーやAIを組み合わせ、自動選別ができるよう検討
 - ・ 従業員が社内データにどこからでもアクセスできるように、クラウドサービス活用を検討
 - ・ 事業内製化に向けた人材採用計画を策定

□ DX推進体制

- ・ DX推進プロジェクトを設置し、代表取締役を実務執行統括責任者とします
- ・ 従業員全員がDX推進に参加し、社内一丸となった取り組みを実行します

□ DX推進目標

- ・ 社内のIT基盤構築 : 完了(～2025年11月)
- ・ 紙の使用量 : 2023年度比 50%削減(～2027年11月)